

効能・分析表

温泉とは？

地熱のために平均気温以上に熱せられ湧き出る泉のことです。それは、多少の鉱物質を含み、抑揚または飲用として医療効果を示します。

また、硫黄泉、食塩水、炭_泉、鉄泉などがあり、我が国の温泉法では地中から湧出する温水、鉱水及び水蒸気その他、ガスで摂氏25度以上の温度を有するか、または溶存物質を1・中に規定量以上含有するものをいいます。

泉質

アルカリ性単純温泉（低張性アルカリ性温泉）

効能

神経痛、筋肉痛、関節痛、関節リウマチ、変形性関節症、腰痛、五十肩、打撲、捻挫、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、末梢循環障害、軽症高血圧、耐糖能異常症（糖尿病）、軽い高コレステロール血症、軽い喘息又は肺気腫、痔の痛み、ストレスによる諸症状、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進、自律神経不安定症、不眠症、うつ状態。

浴用の禁忌症

急性疾患（特に熱のある場合）、活動性の結核、進行した悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中（特に初期と末期）

以下は公益財団法人 岡山県健康づくり財団による検査結果を記しております

申請者： 岡山県岡山市北区牟佐 2915-1 (有)三協観光

源泉名： 岡山桃太郎温泉

湧出名： 岡山県岡山市北区牟佐字山崎 2921-1

湧出地における調査及び試験成績

イ、調査及び試験者： 公益財団法人 岡山県健康づくり財団

ロ、調査及び試験年月日： 平成27年3月2日

ハ、泉 温： 41.2℃（気温10.6℃）

ニ、湧 出 量： 380リットル／min（動力）

ホ、知覚的試験： 無色透明、微硫化水素臭

ヘ、pH 値： 9.3

ト、電気伝導率： 0.09 s/m

チ、ラドン(Rn)含有量： 34.55 Bq/kg

試験室における試験成績

イ、試験者： 公益財団法人 岡山県健康づくり財団

ロ、分析終了年月日： 平成27年3月16日

ハ、知覚的試験：無色透明、微硫化水素臭（採水24時間後）

ニ、密度：0.9986 g/立方メートル

ホ、pH 値：9.5（26℃）

ヘ、蒸発残留物：0.3820 g/kg

試料 1 k g 中の成分、分量及び組成

イ) 陽イオン

成分	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)
ナトリウムイオン Na+	140.20	6.10	88.66
カリウムイオン K+	1.00	0.03	0.44
マグネシウムイオン Mg ²⁺	< 0.2	-	-
カルシウムイオン Ca ²⁺	15.02	0.75	10.90
アルミニウムイオン Al ³⁺	< 0.1	-	-
鉄 (II) イオン Fe ²⁺	< 0.05	-	-
陽イオン計	145.00	6.36	100.00

ロ) 陰イオン

成分	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)
ふっ化物イオン F-	5.70	0.30	4.67
塩化物イオン Cl-	184.60	5.21	81.03
硫化水素イオン HS-	1.70	0.05	0.78
硫酸イオン SO ₄ ²⁻	1.50	0.03	0.47
炭酸水素イオン HCO ₃ ⁻	31.70	0.52	8.09
炭酸イオン CO ₃ ²⁻	2.40	0.08	1.24
水酸化イオン OH-	0.30	0.02	0.31
メタホウ酸イオン BO ₂ ⁻	9.50	0.22	3.42
陰イオン計	237.40	6.43	100.00

ハ) 遊離成分

非解離成分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)
メタけい酸 H ₂ SiO ₃	31.34	0.52
メタほう酸 HBO ₂	-	-
非解離成分計	31.34	0.52

溶存物質 (ガス性のものを除く) 0.42g/kg

溶存ガス成分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)
遊離二酸化炭素 CO ₂	<0.1	-
遊離二酸化炭素 CO ₃	<0.2	-
溶存ガス成分計	-	-

成分総計 0.42 g / k g

ニ) その他微量成分 (単位: mg/kg)

総ひ素 As	0.005 未満
マンガン Mn	0.01 未満
銅 Cu	0.01 未満
鉛 Pb	0.01 未満
総水銀 Hg	0.0005 未満
総クロム Cr	0.03 未満
カドミウム Cd	0.005 未満
亜鉛 Zn	0.01 未満

泉 質 アルカリ性単純温泉（低張性アルカリ性温泉）

禁忌症、適応症（「温泉分析書」に記載する）

源泉名、源泉所在地、温泉分析申請者、泉質は上記に同じ

療養泉分類の泉質に基づく禁忌症、適応症等は次の通りである

浴用の禁忌症

1) 一般的禁忌症

急性疾患（特に熱のある場合）、活動性の結核、進行した悪性腫瘍、

重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、

その他一般 に病勢進行中の疾患、妊娠中（特に初期と末期）

2) 療養泉質による禁忌症

なし

浴用の適応症

1) 一般的適応症

神経痛、筋肉痛、関節痛、関節リウマチ、変形性関節症、腰痛、五十肩、打撲、捻挫、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、末梢循環障害、軽症高血圧、耐糖能異常症（糖尿病）、軽い高コレステロール血症、軽い喘息又は肺気腫、痔の痛み、ストレスによる諸症状、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進、自律神経不安定症、不眠症、うつ状態。

2) 療養泉質による適応表

なし

飲用の禁忌症

なし

飲用の適応症

なし

(注) この別表は、温泉法第18条による提示に必要な参考資料となるものである。